

令和7年度 横浜市つたのは学園 事業報告

令和7年度は、新たに5名の特別支援学校卒業生を迎え55名でのスタートとなりました。一方、1名が8月に入所施設への移行となり、1名が長期で通所できていないために退所され、12月に引っ越しによる退所、3月に1名が他事業所へ移行され51名となりました。

職員体制については、施設長交代と4月に正規職員採用、10月より手薄であった男性職員の採用ができています。療養が続いている職員もおりますが、現時点で横浜市が規定する職員数を上回ることができています。5月で相談員が退職し、昨年度まで支援員であった職員が担当となっております。

運営面においては、9月中旬に15名の利用者・職員の新型コロナウイルス感染の発生をみましたが、その後は目立った感染はなく、各種行事・委員会活動等は予定通り行っています。また、職員数が整ってきたこともあり、重点目標である育成強化のため、外部の研修に積極的に参加をしました。

1月には横浜市による運営指導（生活介護）が行われました。改善報告を要する事項はありませんでしたが、施設内研修の実施記録、感染症予防の指針についての会議開催の充実について改善指摘の通知がありました。

1. 重点目標について

年度当初の重点目標は下記のとおり。

- | |
|--|
| <p>(1) 「豊かな未来を見据えた支援」の取組み</p> <p>利用者が18歳から76歳という年齢幅のある中、支援の基本方針「豊かな未来を見据えた支援」（令和4年度策定）のもと、年齢や個々の利用者の特性に合わせたプログラムを提供し、一人ひとりの可能性発揮をエンパワーする支援に取り組む。充実した日中活動を過ごせるよう利用者が主体となる支援を提供していく。</p> <p>(2) 職員体制の整備と育成強化の取組み</p> <p>令和6年度は、職員個々の様々な事情から休職者等が相次ぎ、職員体制は大変厳しい状況となった。令和7年度は職員体制が整ってきたが、中長期的な運営体制を視野に入れ、バランスの取れた体制構築を目指して行く。</p> <p>利用者支援と各種会議・委員会の取り組みが適切に連動し、必要な研修が設定できる体制整備と運営に努める。</p> <p>(3) 長期的な運営を視野に入れた運営体制構築の取組み</p> <p>新たな施設長のもと、第3期受託を視野に入れた管理運営体制の構築に注力が必要である。指定管理受託に関しては法人全体の重点的課題としてとらえ、施設の設置目的、地域社会に働きかける役割意識をはっきりさせていくことが必要となる。これまで職員が努力を積み重ねてきた実績を踏まえ、第3期受託に向けた運営体制の整備構築について法人本部と連携しながら取り組んでいくこととする。</p> |
|--|

2. 管理運営面について

(1) 施設管理

- ① 横浜市長津田地区センターとの合同会議を毎月定例で行い、複合施設としての円滑な運営に努めた。
- ② 横浜市がリースしていたバスが、劣化により新型バスを導入した。(つたのはがリース契約者となる)
- ③ 横浜市長津田地区センターと共用の高圧電気設備更新工事後、接地抵抗値の不具合により、アース埋設の追加工事を行った。(6月:156千円)
- ④ 厨房内換気設備(吸気装置)の経年劣化による修繕工事。(6月:396千円)
- ⑤ 厨房内、活動室3のエアコンリモコン不具合による交換。(6月:152千円)
- ⑥ 厨房内給湯器故障による交換工事。(7月:222千円)
- ⑦ 厨房エアコン室外機ファンモーター交換(10月:104千円)
- ⑧ 建築局より指摘修繕(天井点検口等)(1月:447千円)
- ⑨ 学園バス修理(2月:403千円)

(2) 職員体制

- ① 令和7年4月15日付で常勤支援員を採用した。
- ② 育児休業を取得していた支援員は令和7年4月より復職し、7月まで育児短時間勤務とした。
- ③ 10月1日付で常勤支援員を採用した。

(3) 医務

- ① 主任看護師において日常的な利用者の健康管理を実施するとともに、「保健だより」を毎月発行した。
- ② 嘱託医(みどりの家診療所・三宅捷太医師)により月1回の定期的な健康相談日を設け、必要に応じ保護者等も交えた支援を行った。
- ③ 口腔衛生について、心身障害児総合医療療育センター(板橋区)歯科医による歯科検診を行った(5月23日)。
- ④ 主任看護師による衛生管理研修「手洗いについて」(手洗いチェッカー使用)を行った。2月26日(木)

(4) 各種会議・委員会

各種会議・委員会関係について定期的に会議を開催し、活発に意見交換することで、職員の役割意識の向上や外部関係機関との関係づくりにつながった。

① 会議

- ・グループ会議 日々の活動の基礎単位となる3つのグループが、それぞれ、随時、情報共有・課題調整を行った。
- ・支援会議 3グループ間相互の情報共有・全体調整のため毎月1回開催した。
- ・職員会議 正規職員全員による会議を毎月開催し、運営上の種々の情報・動向の共有、各委員会の報告、スケジュール確認等をきめ細かく行った。

② 委員会

- ・権利擁護・虐待防止・身体拘束等廃止・適正化検討委員会
- ・施設内研修委員会 ・地域交流委員会 ・利用者旅行委員会

- ・つたのは祭り委員会 ・外部研修委員会 ・実習委員会 ・送迎委員会
- ・給食委員会 ・環境整備委員会 ・広報委員会
- ・レク担当委員会 ・Yネット委員会 ・自主製品プロジェクト

(5) 指定管理業務

- ① 横浜市事務調査 7月3日(木) 9:00~16:30
- ② 令和8年度予算ヒアリング 8月6日(水) 15:00~16:30 市庁舎

(6) 財務・会計業務

- ① 指定管理ということもあり、予算や決算、補正予算の報告時期より早く作成した。
- ② 職員体制が整ってきたこともあり、人員配置体制加算において、体制加算Ⅱを満たした運営ができています。
- ③ 会計経理事務の適正な執行のため、隔月で西迫会計事務所の巡回相談を受けた。

(7) 災害対策

- ① 緑区社会福祉協議会福祉施設等分科会による「災害時情報共有回覧板」の取組みに参加(8月)
- ③ 長津田地区センター合同避難訓練 9月8日(月)10:30~11:15
3月9日(月)10:30~11:15
- ④ 福祉避難所運用
 - ・情報共有システム活用訓練参加(8月)(1月)

3. 支援面について

(1) 支援方針について

- ① 「豊かな未来を見据えた支援」の方針のもと、利用者の全体像を把握すると共に、その人のストレングスに視点を置いた支援を心がけた。
- ② 毎朝の打ち合わせにおいて、利用者の状況や家族からの情報についてきめ細かく共有するとともに、イントラネットを利用した職員相互の情報交換を積極的に行った。

(2) 日中活動について

- ① 利用者の状態像に合わせ、3グループ編成で日々の活動を実施した。
- ② 健康活動、受注作業や「自主製品プロジェクト」の取組みにより、個々の利用者に応じた幅広い支援メニューを提供することができている。また、工夫を凝らした製品づくりが評判を呼び、地元中学校や支援学校等における販路拡大に繋がっている。

・緑区役所での販売プロジェクト「みどりハートフルマーケット」に定期出店した(第1月曜・第3金曜)。

【上半期工賃】

- ・支給合計額 895,999 円 (R6 年度 527,904 円)
- ・最高支給額 20,253 円

【下半期工賃】

- ・支給合計額 2,027,025 円 (R6 年度 1,567,869 円)
- ・最高支給額 47,740 円 (R6 年度 37,125 円)

(3) 余暇活動支援について

①「豊かな未来を見据えた支援」を継続するうえで、意思決定支援の観点から、毎月利用者会議を開催し、工賃により買い物や飲食のための外出機会を設けた。このことにより活動の幅も広がり、利用者の励みとなっていることが明らかになっている。

② 千葉方面（ぞうの国・東京ドイツ村）、横浜港クルーズ、2グループに分かれ日帰り旅行を実施した。（3月3日・3月5日）

(4) 行事関係について

・新人を祝う会 6月11日（水）

・ミニ縁日 8月16日（土）

長津田小学校のプール貸し切りができなくなったための代替行事であったが、利用者に大変好評で、今後この行事の規模を拡大する計画でいる。

・もみじマーケット参加 10月18日（土）

オープンサタデーにて、午前午後に分かれ、もみじマーケットでソフトクリームを召し上がった。

・芋ほり 11月6日（水）（JA横浜田奈支店の協力により）

・つたのは祭り 11月8日（土）

長津田小学校フェスティバル・長津田地区センターまつりと同日開催

・つたのは学園主催地域交流ライブ 3月30日（月）

初の試みで地域の方々、近隣の事業所に呼びかけ、参加型のイベントを行った。

長津田地区センター体育館にて和太鼓ミュージック「XERO」を招き、多くのお客様が参加された。

(5) 権利擁護・虐待防止について

① 毎朝のミーティングにおいて、呼称・言葉遣いについての注意喚起を欠かさず行っている。

② 権利擁護・虐待防止・身体拘束等廃止・適正化委員会において、年間を通したチェックリスト実施・振り返り・検証・研修等の計画について検討を行った。

・第1回施設内研修 虐待（不適切支援）事例検討 8月16日（土）より計5回に分け実施。

・第2回施設内研修 身体拘束適正化研修「何が身体拘束にあたるのか」を実施。

③ 定期的にYネット、オンブズパーソン（2名）の訪問を受け、視察・意見交換を実施した。

④ Yネット推進会による、事業所間交換研修を行った。（派遣2名・受け入れ2名）

⑤ 8月より虐待防止に向けた職員セルフチェックを行っている。

⑥ 利用者意思決定支援の観点から、「あおぞら意見交換会」に利用者代表が参加した。
3月2日（月）

(6) 専門機関等との連携について

横浜市発達障害者支援センターからの定期的助言等を受け、個々の利用者にあった自立課題や機能維持のプログラムの提供を行い、支援力向上を図った。

【対象者】4人

(7) グループホームのバックアップについて

つたのは学園利用者が多く入居する偕恵シグナルグループホームと情報共有し、必要な応援を行うことで支援充実を図った。

(8) 日中一時支援事業について

日中一時支援事業のニーズは増している状況にある。極力受け入れを行い在宅支援の一助とするため、安全性や職員体制を調整し、概ね利用希望を受け入れることができた。(登録利用者数 36 名)

(9) 法人内事業所間交流について

①中堅職員拠点間交流研修にて、育成強化と長期的な運営を視野にという重点目標の取り組みとなっている。

② 若手職員親睦会として、7月17日(木)1名の参加、ファシリテーターとして主任1名が参加した。

4. 人材育成・研修

- ① 個人情報保護研修 4/10(木)【講師】施設長 【対象】全職員
- ② 権利擁護・成年後見相談対応マニュアル研修 5/30(金) 1名
- ③ 令和7年度指定特定及び指定一般、指定障害児相談支援事業所、指定自立生活援助事業所向け集団指導 6/24(火) 2名
- ④ 令和7年度横浜市強度行動障害支援力向上研修【基礎研修】 7/10(木)・11(金) 1名
- ⑤ 新卒2, 3年目 フォローアップ研修 7/18(金) 2名
- ⑥ 障害者支援基礎研修 8/1(金) 1名
- ⑦ 令和7年度神奈川県サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者更新研修 8/4(月)・5(火) 1名
- ⑧ 基礎から学ぶリスクマネジメント研修 8/5(火) 1名
- ⑨ 支援スタッフ部会研修「虐待防止・身体拘束廃止研修～自分や周りの支援を振り返ってみよう～」 8/27(水) 1名
- ⑩ 新たな時代の人材定着 オンボーディング研修 8/28(木) 1名
- ⑪ 安全運転管理者等法定講習 9/26(金) 1名
- ⑫ 令和7年度横浜市強度行動障害支援力向上研修【基礎研修】 10/9(木)・10(金) 1名
- ⑬ 障害者支援センター研修「口腔ケア・摂食嚥下研修」 11/7(金) 1名
- ⑭ 「対人援助技術研修」 11/11(火) 1名
- ⑮ 「精神疾患の理解と家族への支援を考える」 11/14(金) 1名
- ⑯ 「中堅職員研修」 11/21(金)・28(金) 1名
- ⑰ 【法人】係長主任人材育成研修 11/26(水)・12/10(水) 5名
- ⑱ 「苦情対応研修」 12/3(水) 1名
- ⑲ 【法人】虐待防止研修 12/4(木) 3名
- ⑳ 第40回神奈川県障害福祉職員実践報告会参加 12/20(土) 2名
- ㉑ 「支援が変わる面接技術」 12/25(木) 1名
- ㉒ 「ICT・AI・ロボットの活用」 1/30(金) 1名

5. 計画相談支援事業について

- ① 「相談支援事業所つたのは」では、法人内のシグナル相談支援事業所と連携し、質の高い支援に努めた。【契約者数】27人
- ② 地域の自立支援協議会に参加するなどにより、関係機関等との連携強化と情報交換を

行った。

6. 家族との関係について

- ① 家族会としては解散しているが、利用者の状況を家族にお伝えし、意見交換を行う報告会を実施した。

10月17日（金）13:30～15:00

- ② 家族会解散により、家族会費については、つたのは学園に寄付された。
（6月25付けで676,682円：経常経費寄付金収入）
 - ・この寄付金より作業備品としてミシン77千円、大型ファン69千円の購入に活用させていただいた。
- ③ 「利用者およびご家族の皆様へお知らせ」を毎月発行した。

7. 地域との交流及び公益的な取組みについて

- ① 神奈川県社会福祉協議会福祉人材センター主催の「令和7年度 福祉の仕事を知る懇談会」でつたのは学園で働くことについて主任1名が講師として派遣された。
- ② 緑区役所での販売プロジェクト「みどりハートフルマーケット」に定期出展した（第1月曜・第3金曜）。
- ③ 長津田小学校スクールゾーン対策協議会参加 7月4日（金） 施設長
- ④ 長津田小学校創立80周年記念式典参加 11月29日（土） 施設長
- ⑤ 引き続きシニアボランティア方に自主製品制作に協力を得ている。毎週火曜日3名
- ⑥ 施設開放
 - ・地域で活動する団体に施設の一部（ホール・園庭）を土・日開放 3団体
 - ・近隣保育園への園庭開放（平日）
- ⑦ 教育実習生等の受入れ

【学校関係】

- ・日本体育大学3年生（男子） 8月19日（火）～9月2日（火）11日間
- ・田園調布学園大学3年生（女子） 8月19日（火）～9月3日（水）12日間
- ・東京未来大学3年生（女子） 9月25日（木）～10月10日（木）12日間
- ・田園調布学園大学3年生（男子） 2月17日（火）～3月4日（水）12日間

⑧ 主催イベント開催

- ・令和7年度は初めて地域住民、施設や他事業所向けにつたのは学園の主催で音楽イベント（和太鼓ライブ）を行った。合築の地区センター体育館を会場として出入り自由の参加型とした。250名ほどの観覧者が訪れ、盛況となった。